

令和5年度習志野市災害医療対策本部及び応急救護所訓練 反省結果

災害医療本部

【到達目標1】 応急救護所設営手順（場所・位置）や物品の扱い方（発電機・ライト・無線）が役割に関係なく設営できる				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①災害備品の保管場所を確認できた	○			
②配置図をみながら設営できた	○			
③災害備品内容を確認できた	○			
④物品について				
確認し不足していたもの				
使用できないもの		・プリンターの調子が悪かった。		
あったらよいもの		・延長コードを多めに用意		
⑤今回の訓練で配置図の変更した点				
<ul style="list-style-type: none"> ・本部席を無線班の目の前にし、情報伝達をやりやすくした。 ・本部席の隣に、行政、医療（EMIS用PC）とした。 				
【到達目標4】 医療本部は応急救護所や病院等からの情報を整理し、管家機関等への連絡調整を行う。				
(1) 情報伝達・情報整理				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①音声での通信ができた	○			
②無線担当者と記録担当者の連携がスムーズにいった	○			
③画像伝送ができた	○			画像伝送は時間がかかるが、その間に他との通信ができなくなる。
④印刷ができた	○			
⑤医療本部に入ってくる情報の流れを確認できた	○			情報は、まず、本部席で共有するようにした。
⑥随時災害対策本部へ必要な情報を報告できた	○			
⑦ホワイトボード等に必要な情報を記載し整理できた	○			
⑧指揮をとる各代表者らが必要な情報を得て、要請内容に対する指示を出すことができる。	○			
※各代表者らが各機関からの要請内容を情報共有しやすいよう、指揮テーブル等レイアウトを変更。今回実施してみたの感想・意見				
・本部の机は、地図が置けるように四角にするが、席は、情報のボードが確認できるようにコの字の方がよい。				

(2) 役割				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①各自の役割を実施できた	○			
②手が空いている時に、他の役割をサポートできた			○	
(3) その他				
	できた	できなかった	どちらでもない	備考
①EMIS入力ができ、活用方法を理解できた			○	
②医薬品の供給の流れ・手続きを理解できた			○	
【その他、ご意見等（次年度の訓練に向けて等）】				
<ul style="list-style-type: none"> ・無線と連絡係が近い方がよいので、無線の近くに本部を置いたのはよかった。 ・全員がボードの情報を確認できたほうがよい。（コの字） ・すべての情報を1か所（本部）に流せずことは、わかりやすくよかった。 ・施設、周辺の状況、交通情報等の報告に時間がかかった。EMIS代行入力フォーマットのように、医療本部・応急救護所ともに統一したチェックリストを作成した方が、端的に確認できる。無線担当者が記載する字数を少なくし✓か○囲みで記載できる部分を増やした方が書き間違い、読み間違いも防げる。 ・トリアージの表が画像伝送されてくるが、それ以外に無線（音声）でも入ってきたので、統一した方がよい。 ・本部で受け入れ先を振り分けるのがよいか、それとも4病院に受け入れ可能かを投げかける方がよいのかを、検討する必要がある。 ・無線では、短い言葉で端的に、早口にならないように確実に話す。また、復唱する。2カ所重なった場合は、本部でリードする。 ・EMISは画像転送しない方がよい。チェックリストを作成し、各救護所から音声で回答を端的にする方がよい。参加者の名前もあるとよい。また、鎌田医師より、病院が入力できない場合のEMIS代行入力は市ではなく、災害拠点病院が担うのか否か、済生会習志野病院（事務方）に確認した方がよいとの助言あり。 ・医師会の中でも今回の反省を踏まえて協議していきたい。 ・市内の薬局の被災状況を確認するツールを考えていきたい。 ・EMISに関し、代表者の席でも見たいとの要望があったことから、入力用1台、閲覧用1台の用意ができればよかった。なお、2台用意する場合には、HABとLANケーブルが必要となる。 ・情報管理係が本部内で十分に生かせていなかった。 				
検討事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も今年度同様に代表者らが集まる席を設置する体制とする。 ・応急救護所の報告内容をフォーマット化し、音声でも確認しやすいよう整理する。応急救護所設置参集報告・被災状況報告・随時報告（来所者人数等）等を作成する ・応急救護所からの報告、搬送依頼等の一定のルールについて整理する必要がある。 ・EMIS代行入力について（千葉県健康福祉部EMIS活用マニュアル（2018年7月）より） <ul style="list-style-type: none"> ・「代行入力は被害状況を把握し機関コードを持っている機関（市町村、保健所、消防機関など）が迅速に行うこととし、被害状況の共有を優先することとします。」 ・「災害モード切替後、概ね3時間以内に入力のない医療機関については、市町村救護本部から直接連絡し、状況確認を行うこととします。通信機器が不通の場合は、職員等を現地に派遣することも検討することとします。」 →原則3時間以内にEMIS入力とされており、未確認の場合は市が把握を試みる。 ・PC2台分は市職員のものを使用。附属品の準備を行う。 				